

## 【7月、夏休み】

子どもたちと一緒にバリアフリー調査をしました。

子どもたちは、学校で車椅子を体験しているのですが、校外での経験は初めてでした。

普段、何気なく歩いている道路ですが、車椅子を使ってみたらいろいろな事がわかりました。

## 【2チームで調査】

大人5人、子ども9人の参加者を2チームに分けて移動しました。

車椅子に乗る人、押す人、そして、記録は交代です。

富士見2丁目の生活クラブ生協くらぶメゾン鶴ヶ島からスタートして、4丁目の富士見中央近隣公園、栄小学校周辺を回りました。

## 【気付いた事】

- ・車椅子で通ると歩道の幅が狭い。
- ・歩道から車道のスロープが急すぎる。
- ・水たまりができるほどのこぼれがある。
- ・木の根でこぼれになっている。
- ・草木が、季節によりのびて張り出していると通行の妨げになる。
- ・側溝の雨水用の蓋、隙間が大きいと車椅子もベビーカーも車輪がつかえる。

## 【子どもたちの感想】

- ・車椅子で歩道を移動するのは危険で怖かった。
- ・車椅子からの目線が低いとわかった。
- ・少しの段差にもガタンとなる、体が斜めになるから怖い。
- ・道の片側によっていく、押すのが難しい。
- ・歩道から車道に落ちそう。
- ・坂道は引く張られる感じがした。

## 夏休み、親子でまち探検報告 バリアフリー調査

エリア 鶴ヶ島市富士見地区

日時 2016年7月21日(木)

10時～11時

天気 曇り時々小雨

## 【大人たちの感想】

車椅子を使った事がなかったので、広げ方もたみ方も、そして、乗っている人の負担にならないような押し方も、実際に体験してわかりました。学校の敷地内のバリアフリーはどうなっているのでしょうか。

- ・大きい通りは楽だが、人がたくさんいるので通りたくないと思う。
- ・実際に車椅子を押してみたら、腕が疲れた。
- ・歩道が狭い所、木の根が出てる所は落ちそうで怖かった。
- ・木の枝が出てるのが気になった。
- ・公園周辺のレンガ敷きの歩道は、雨上がりで濡れていると滑る。
- ・車椅子に乗ってみると不安な気持ちになった。

## フードドライブのお知らせ

くらぶメゾン鶴ヶ島秋祭りで、フードドライブを実施します。社会福祉協議会を通じて、食べ物が必要な方にお渡しします。(個別の相談については生活サポートセンターへ)

■日程 11/7・8・9 10:00～17:00

■受付 くらぶメゾン鶴ヶ島 富士見2-12-15

<http://club-mezon.cocolog-nifty.com/>

■ご注意ください

- \*賞味期限が3ヶ月以上あること
- \*破損がなく、未開封の物
- \*常温で保存できる物
- \*生ものは受け付けません

■お問合せ [tsurunetorg@gmail.com](mailto:tsurunetorg@gmail.com)



実際に車椅子で調査

地球温暖化の影響とも言える異常気象、特に集中豪雨は都市部でも浸水の被害が増えていきます。これまでの災害の教訓から、公共施設や道路などハードの整備が重要である事は明らかです。車椅子でもスムーズなまちは、誰にとっても安心なのではと感じました。